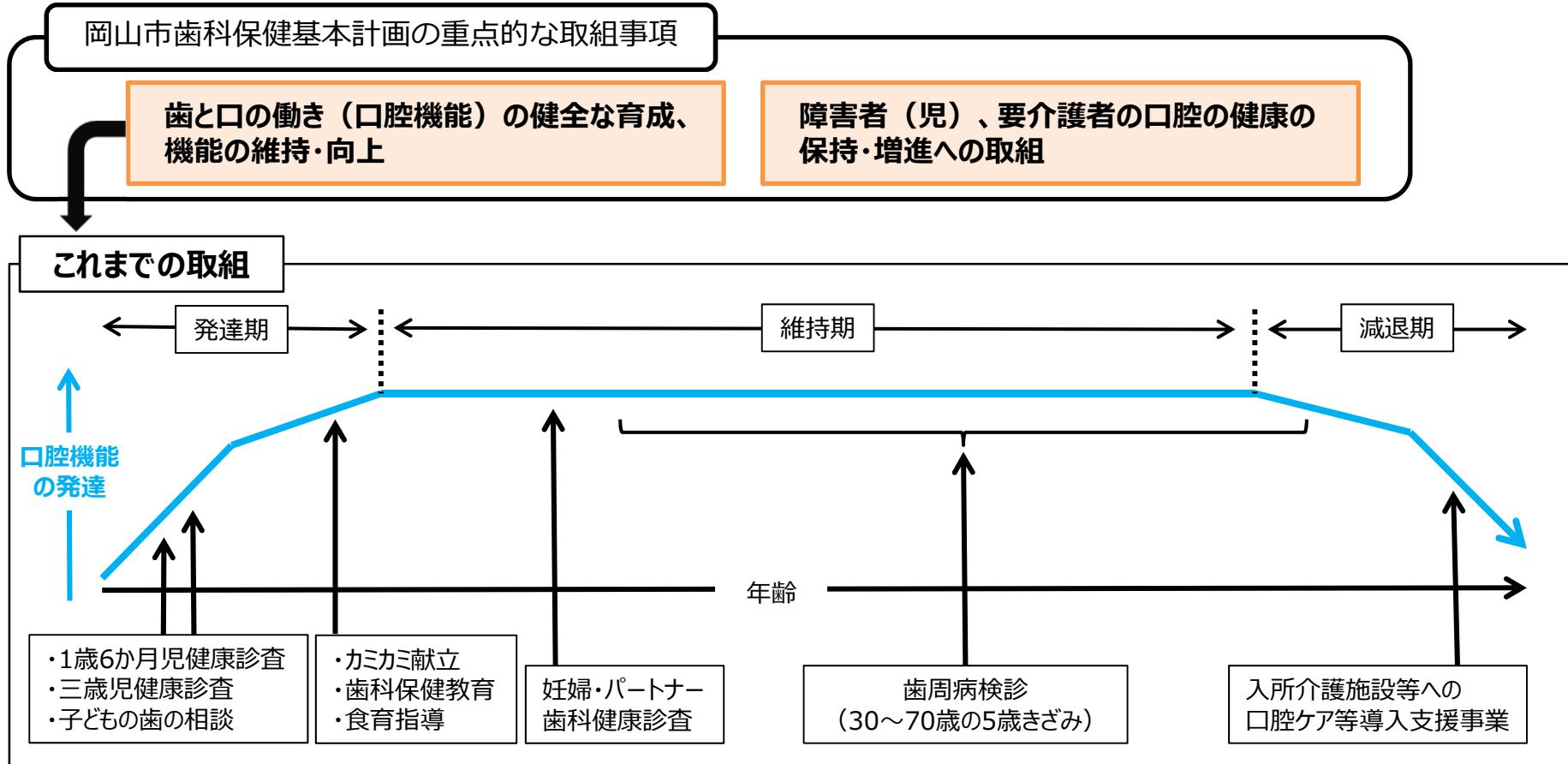


# 平成31年度の取組について

# 口腔機能の獲得、維持・向上に向けた対策について



## 岡山市歯科保健基本計画 中間評価

目標項目	目標	計画策定期	中間評価時	評価
60歳代における口腔機能の低下が認められない人の割合の増加	80%	68.3% (H22年度)	54.1% (H28年度)	悪化

高齢者のオーラルフレイル（口腔機能の低下）は低栄養や誤嚥性肺炎に直結する

平成31年度は高齢者のオーラルフレイル対策を重点的に行います。

# 高齢者のオーラルフレイル対策

## 課題と対策の方向性

オーラルフレイルは近年になって新しく提唱された概念であるため、市民の認識・理解が不十分。

⇒ **オーラルフレイルについての市民の認識を深める**とともに、**口腔機能の維持・向上のための支援策の構築**を検討する必要がある。



## 平成31年度の取組

### ○ 高齢期における口腔機能の維持・向上に関する普及啓発

- ・「保健所からのお知らせ」（全戸配布）にオーラルフレイルのセルフチェックを掲載
- ・歯周病検診の受診者に対してオーラルフレイルのセルフチェックを送付
- ・愛育委員会会長を対象にオーラルフレイルと口腔機能のセルフトレーニングについて研修

### ○ 【新】高齢者歯科口腔健診の実施

## 平成31年度の取組イメージ（案）

高齢者

### 個人のチェック

#### 口腔機能についての普及啓発

- ・オーラルフレイルのセルフチェック

76歳

### 専門職のチェック

#### 高齢者歯科口腔健診

（市内の指定の歯科医療機関）

## 口腔機能の維持・向上のための取組

### ○セルフトレーニング

### ○健康教室

### ○介護予防教室

### ○検査・定期健診

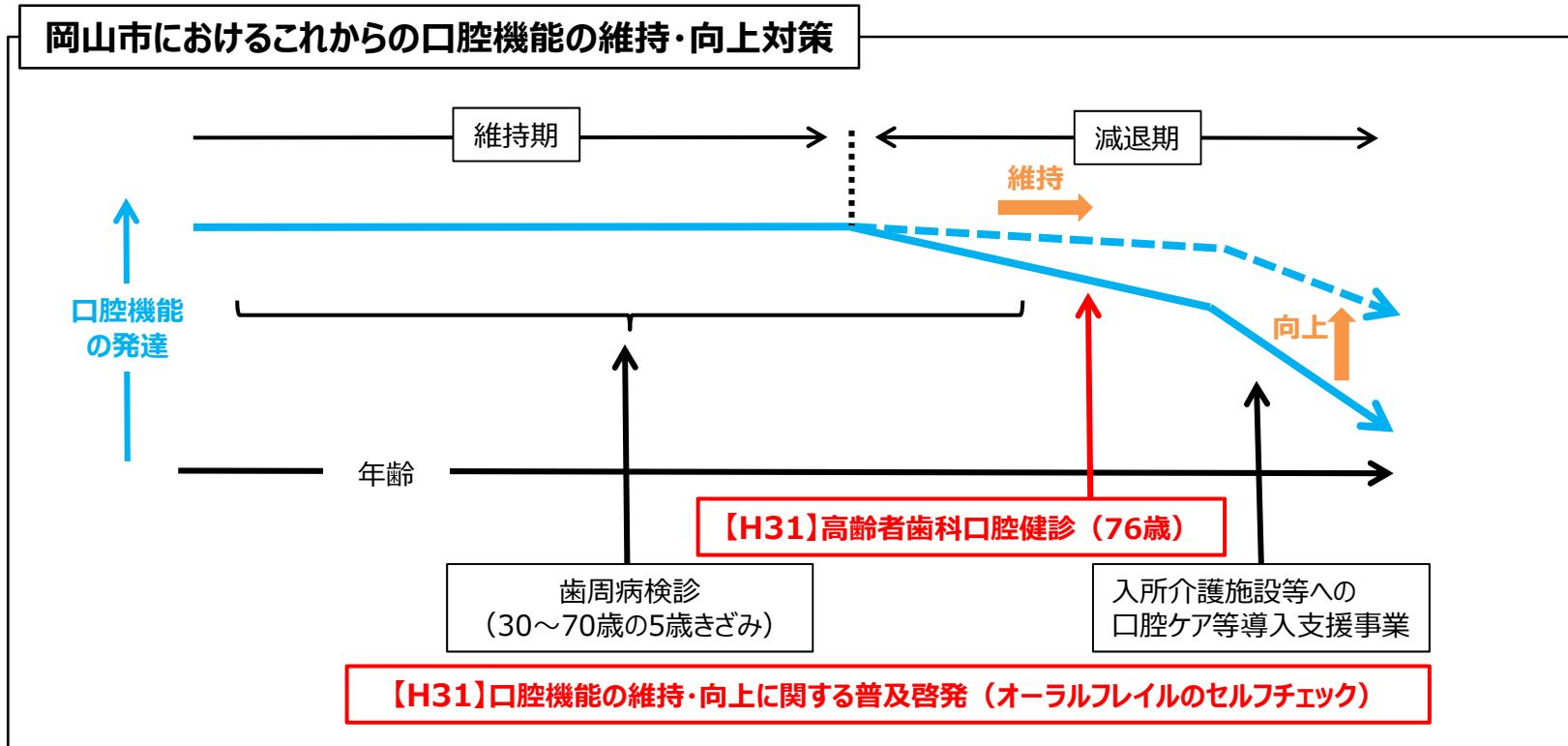
正常な機能・  
中軽度の  
機能低下

### ○治療

治療後はセルフトレーニング等で維持・向上に努める

重度の  
機能低下

# 高齢者のオーラルフレイル対策



## オーラルフレイルについての市民の認識を深めるための今後の検討課題

- ・無関心層への働きかけを含めたオーラルフレイルに関する普及啓発を図る機会の拡大
- ・医科・歯科等の多職種連携のあり方

など

## 口腔機能の維持・向上の支援策の構築のための今後の検討課題

- ・歯科訪問診療等を含めたオーラルフレイル対策の展開
- ・口の体操等セルフトレーニングの周知のあり方
- ・地域や民間企業との連携のあり方

など

# 【新】高齢者歯科口腔健診について

## 目的

歯・歯肉の状態や口腔内の衛生状態に問題がある高齢者や、口腔機能の低下の恐れがある高齢者をスクリーニングし、詳しい検査や治療等につなげることで、口腔機能の維持・向上、全身疾患の予防等を実現することを目的とする。

## 対象

市内に居住地を有する76歳の者（一部自己負担あり）

## 健診内容

- 1 問診  
服薬状況、生活の状況、健康状態 等
- 2 口腔内検査  
歯・歯肉の状況、口腔機能評価（嚥下機能、舌・口唇機能等） 等
- 3 歯科保健指導

## 実施期間・場所

6月～12月（岡山市のがん検診や他の健康診査の実施期間と同様）  
市内の指定歯科医療機関

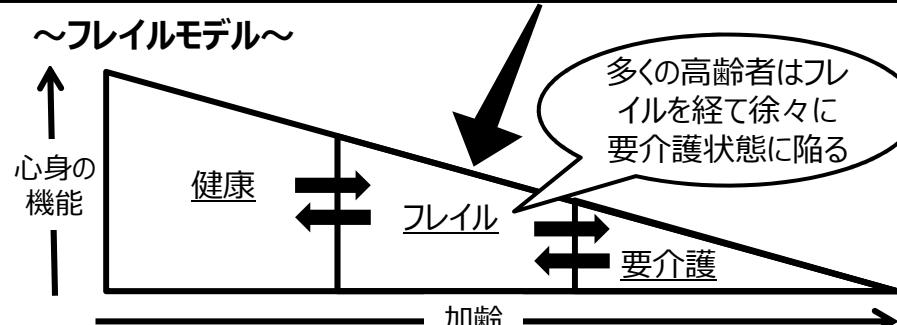
# フレイルについて

## 参考資料

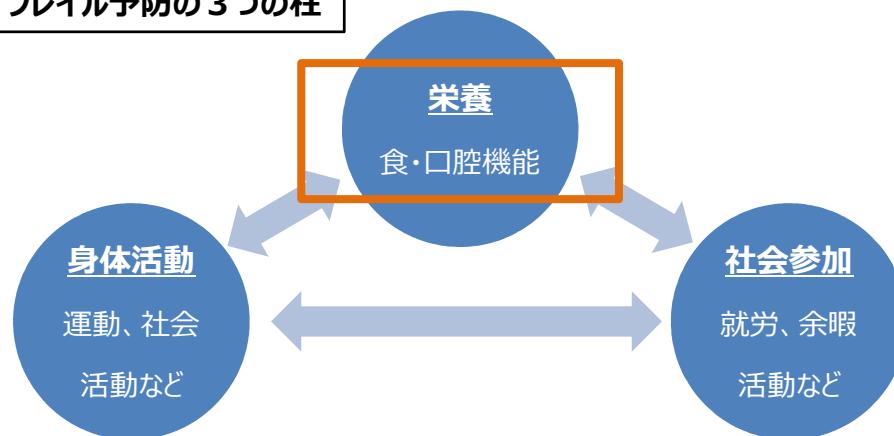
フレイルとは・・・

健康と要介護の間の時期で、加齢とともに心身の活力（筋力や認知機能など）が低下した状態のこと。

早期に発見し、予防の取組みを行うことで、生活機能の維持・向上に高い効果が得られる。



フレイル予防の3つの柱

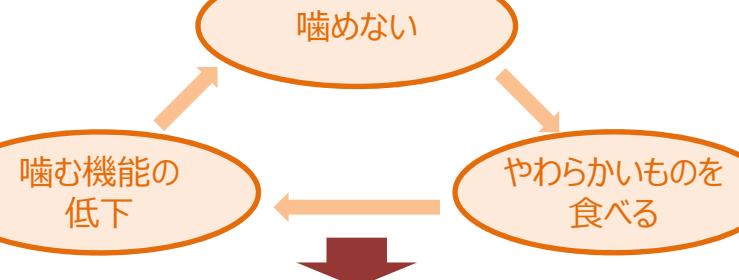


岡山市の平成31年度実施事業の方針

「健康・福祉」分野の1つとして「フレイル対策事業」

- ・要介護状態となる前の高齢者を対象として、介護予防教室や医療機関など身近な場所でフレイルチェック（身体的な虚弱度の判定）を実施
- ・専門職が結果説明や助言・指導等を実施
- ・フレイルチェックの結果を基にデータ分析を行い、今後の介護予防施策に活用

＜フレイルとオーラルフレイルの関係＞



口腔機能の低下（オーラルフレイル）

心身機能の低下（フレイル）

= オーラルフレイルはフレイルの入り口

※オーラルフレイル・・・口腔機能の低下（衰え）のこと。

例：食べこぼしが多くなった、むせることが増えた、固いものが噛めなくなったなど